



第7回 Fish-1 グランプリに出場

11月17日、爽やかな秋晴れの下、東京日比谷公園において、第7回 Fish-1 グランプリが開催された。「全国魚市場&魚河岸まつり」期間中のメインイベントとして開催され、全国45都道府県の水産団体よりプライドフィッシュを使用した料理50品目の応募があり、事前審査を勝ち抜いた6団体が本戦に出場となった。本県からは初の応募で、県漁連と南郷漁協（港の駅めいつ）共同で日南の郷土料理である「イセエビのずし」で応募し本戦出場が決定した。

当日は過去最高の来場者数を記録する中でグランプリがスタートし、各県の強豪がひしめく中、本県も中盤でガス釜のトラブルに見舞われたものの約800食を売上げた。採点は来場者と審査員の投票によって行われ、JFやまがたが「おさしみ鮭といくら漬け丼」で初のグランプリに輝いた。本県は惜しくもグランプリを逃したが全国漁業協同組合連合会会長賞を受賞した。

会場ではさかな君によるトークショーや、全国の水産高校生による研究発表などの各種イベントも行われ子供からお年寄りまで料理に舌鼓を打ちながら楽しめる内容となった。宮崎県水産物PRの場として今後も参加が期待される。

